

山村美咲子議員

女性の健康を守るために

問 2011年度政府予算で子宮頸がんワクチン接種助成事業が設けられる。予防検診として、細胞診とHPV検査の併用は、前がん病変をほぼ100%発見されるとされ、特定年齢の検診は全額国庫補助。予防ワクチンについては、特定年齢での一斉接種は全額、それ以外は一部を国庫補助する。町の負担もあるが、考えはどうか。

平岡町長 子宮頸がんワクチンについては、来年度の実施に向けて医師会と具体的な協議に入っている。公費負担対象者年齢やワクチン接種の進め方については、医師会等の意見を踏まえ決定する。

広陵町エコセンターの設置に伴うリサイクル事業の展開を

問 旧清掃センターを整備し、エコセンターを設置することになった。循環型社会の推進のため、不用品を提供する「譲ります×譲ってください」コーナーを設置してはどうか。また、ペトボトルのキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届ける「エコ

キヤップ運動」を実施してはどうか。

平岡町長 エコセンターは、リサイクル啓発施設として牛乳パックの回収拠点及び紙すき工房を設ける計画に基づき運営していく。「エコキヤップ運動」についてはPRをすることは良いことだが、実施は今後の検討課題にする。

救急時の安心確保へ

問 救急医療情報キットの配付事業は、東京都港区からスタートした。災害時はもちろん平時において緊急の事態が発生した場合、本人の病歴や服用している薬などの情報が容易に入手でき、迅速な救急医療の提供につながる。この情報キットは「命のバトン」とも呼ばれている。広陵町でも実施してはどうか。

平岡町長 今年度中には「災害時要援護者支援台帳」の整備も行う予定であり、この「救急医療情報キット」導入も視野に入れ、現行の救急医療体制との連携をさらに強化することで、多方面から高齢者を支援していく。

その他の事項

- カーブミラーの住所表示を
- 発達障害の子どもたちの成長のために

八尾春雄議員

国保税改定（12%値上げ）について

問 平成22年度の初回分の納入状況はどうか。国の進めようとしている国保の広域化の進捗状況は。後期高齢者医療制度は年齢で差別を持ち込む根本的欠陥があるが、これを廃止し、国保に戻っても65歳以上は別会計が検討されている。これは廃止に値しない。

平岡町長 年間で納付いただく額の18%が納付された。昨年の16%、一昨年の12%より前進しており住民の協力に感謝している。国保の制度改定は協議中であり注視している。「国保会計危機突破広陵町民大会」は実効性があれば考えたい。12月2日に全首長が集う。

靴下産業の振興について

問 靴下産業に関わる就労者数、事業者数はここ10年で推移はどうか。靴下の「広陵ブランド」はできないか。靴下の製造・流通・販売に町の振興策を。靴下まつりの他県での展開やアンテナショップの開店は考えられないか。

平岡町長 推計値で800人が靴下産業に従事しているが、10年前の160社から90社に減っている。「広陵ブランド」は販路の構築が難しく実現していない。県商工観光館・美浜町との交流、緑化フェアでも取り組みたい。

地区計画制度の進捗について

問 自治会から申請後2年9ヶ月を経過し、当初の日程から相当に遅れている。町が原案を作成したのだからその原案を実現するためにもっと積極的に進めてほしい。今後の計画はどうか。

理事者 地権者が連名で要望書も出されており、利害関係者の意見を十分反映して合意形成したいと考えている。このための同意が整うまで調整を行いたい。また、県との事前協議が整えば、一般縦覧・町都市計画審議会を経て、所定の手続きを進め、条例案を議会に上程することとなる。

その他の事項

- 嘉手納町・宜野湾市への激励の手紙に関する件について
- 広陵町社会福祉協議会が提訴されている件について